

森林環境譲与税に関する添田町の令和2年度の決算状況

事業名	事業総額（千円）			(vii) 当年度基金への積立額（千円）	事業内容	税導入の効果
	(A) + (B)	(A) うち令和2年度の森林環境譲与税（千円）	(B) うち他の財源（千円）			
令和2年度森林環境整備事業 下刈業務委託	455	455			令和元年度植栽箇所下刈：1.79ha	
令和2年度森林環境整備事業 下刈業務委託 (2次刈)	374	374			令和元年度植栽箇所下刈(2次刈)：1.79ha	【ワンフリーズ】 税活用により ・前年度に引き続き他の事業で採択できないため、金銭的負担から所有者が手を付けられない森林が1.24ha解消された。 また、昨年度植栽した個所の下刈を行った。
令和2年度森林環境整備事業	8,800	8,800			添田町森林環境整備事業実施要綱に該当する森林の整備	【詳細】 添田町は鳥獣による食害や角研ぎによって樹木の被害が顕著であることから、本税を活用し、自己負担によって植栽をしたにもかかわらず食害によって更新がされてない森林を対象とし、森林の保全を目的とした事業を行っている。また、近年は災害が多発していることから、今年度から被害にあった森林も対象に事業を行っている。
木製備品購入費	499	499			添田町の道の駅である歓遊舎ひこさんのこどもわくわくパークに木製ボルタリングを設置	結果、昨年度に引き続き、税導入前は更新させることが非常に厳しかった森林を今年度は1.24ha解消することができた。 併せて、今後は自己負担等により管理が厳しくなっている放置竹林対策や、近年は災害が多発していることから、住民が不安を訴えている林地残材に関しても、本税を活用することで森林整備を進めていく予定である。
森林環境譲与税積立金				18,894	将来的な木材利用を見据えての積み立て (活用予定：BRT駅舎建設 町営住宅建設に活用 学校建て替えに活用 etc.)	また、添田町ではBRTの駅舎や町立学校及び町営住宅の建替えが計画されているので、その際には公共施設等の木材利用として本税を活用する予定である。